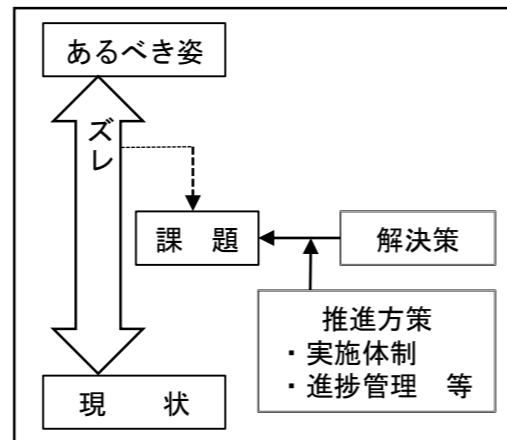


創刊号では、MDGsからSDGsへの流れを解説し、2030アジェンダの行動計画としての側面にも触れました。  
そこで、第2号では、行動計画としての特徴等を深掘りしていきます。

## 決意します！！

我々行政マンは、計画づくりといえ、次のような流れを想定します。

- ① 現状分析
- ② あるべき姿の設定
- ③ あるべき姿と現状との「ズレ」の確認  
この「ズレ」の原因（問題）のうち、改善を課されるべきものが「課題」といわれます。
- ④ 課題を解決するための目標・方策等の検討
- ⑤ 上記方策の実施体制、進捗管理の方法等の検討  
この流れに沿って、「実施計画」たる2030アジェンダの構造をみていきます。



### 1 現状分析

MDGsで成果を上げたものが見られた一方で、その成果には地域的なバラツキがあり、また、目標のうち母子保健等は十分な成果に至っていない。  
さらに、環境問題などMDGsを超えるものも顕在化してきた。  
しかしながら、教育へのアクセスの増加、ICT等による科学イノベーションの進化など事態の改善に向けた潜在力も芽生えている。

### 2 あるべき姿

2030アジェンダは、**2030年の姿を思い描き**、次の3つを「目指すべき世界像」としています。

#### (1) 人間の安全保障が確保された世界

貧困、飢餓、病気、欠乏、恐怖と暴力から解放され、誰もが質の高い教育、保健医療及び社会保護に公平かつ普遍的にアクセスできる世界 など

#### (2) 全ての国の持続可能な成長

持続的かつ包摂的で持続可能な経済成長と人間らしい仕事のある世界、消費と生産パターン、天然資源の利用が持続可能であり、人類が自然と調和した世界 など

#### (3) (1) 及び (2) を実現可能とするための前提が整った世界

人権、人の尊厳、法の支配、正義、平等及び差別のないことに対して普遍的な尊重がなされている世界 など

### 3 課題

貧困、国内的・国際的な不平等、地球規模の健康への脅威、頻発する甚大な自然災害や悪化する紛争、天然資源の減少並びに環境の悪化など、**多くの国の存続と地球の生物維持システムが存続の危機に瀕している。**

### 4 解決策

課題解決に向け、2030アジェンダは17の目標と169のターゲットから構成されるSDGs (Sustainable Development Goals) を規定しています。

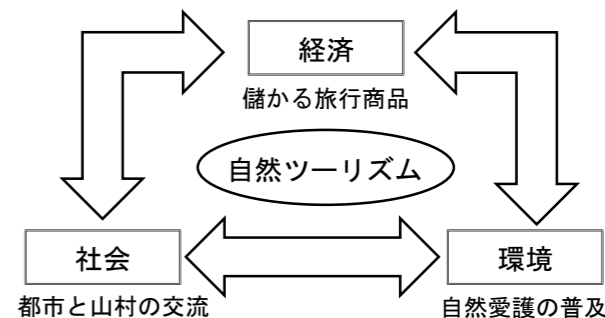
SDGsはあくまで目標であることから、その具体方策は、各国の置かれた現状、能力、発展段階、政策や優先課題を踏まえつつ、**各国政府が定める**こととされています。

さらに、17の目標と169のターゲットは統合され不可分なものであり、持続可能な三側面、すなわち経済、社会及び環境の三側面を調和させるものであるとしていることが大きな特徴となっています。

## 「経済、社会及び環境の三側面を調和させる」って何だそりゃ？

経済発展に伴い公害が顕在化するなどの二律背反的なものではなく、SDGsは、芋づる式、あるいは相乗効果というように、目標のいずれか一つを改善することにより、他の目標にも好影響を与えることを目指しています。

環境に優しい新技術が経済や社会を牽引したり、自然体験や自然観察を旅行に組み込んだ自然ツーリズムなどが分かりやす例といえます。



### (5) 推進方策

#### ① 実施体制

政府、市民社会、民間セクター、国連機関、その他の主体を集結させるとともに、あらゆる利用可能な資源を動員し、すべての目標とターゲットの実施を支援するための全世界の強い関与を促進するとしています。

また、SDGsの達成を達成するための柱として、公共政策及び国内リソースの動員を上げています。

#### ② 進捗管理

##### ア 評価

目標とターゲットは、グローバルな指標と、これを補完する各国や地域レベルの指標によりフォローアップ（評価）されるとしています。

また、国や地域等の各レベルで行う評価にあたっては、データを重視しつつも既存システムを活用することとされています。

##### イ 公表

国連は、成果や課題等を共有するために、各国等が自発的に取組内容等を報告する場を設けることとしています。

### (6) 決意します！！

これらの規定に先立ち、2030アジェンダは、次の5項目について決意しています。

**人間** 全ての人間が尊厳と平等、そして健康な環境の下に、持てる潜在能力を発揮することができることを確保する！！

**地球** 現在及び将来の世代の需要を支えられるよう、持続可能な消費及び生産、天然資源の管理並びに気候変動への対応など地球を破壊から守る！！

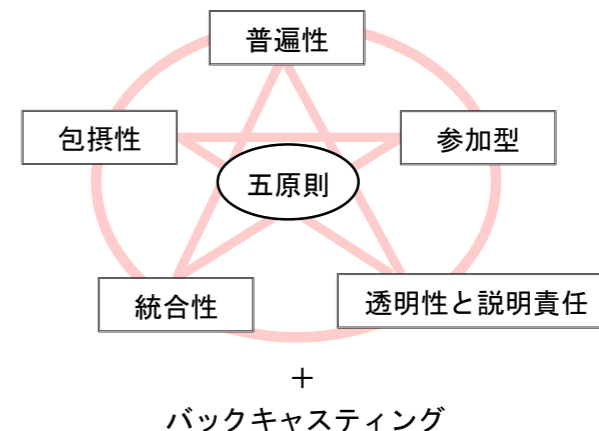
**繁栄** すべての人が豊かで満たされた生活を享受し、経済的、社会的及び技術的な進歩が自然との調和のうちに生じることを確保する！！

**平和** 恐怖及び暴力から自由であり、平和的、公正かつ包摂的な社会を育んでいく！！

**パートナーシップ** 最も貧しく最も脆弱な人々に特別な焦点を当て、全ての国、全てのステークホルダー及びすべての人の参加を得て、アジェンダを実施するために必要な手段を動員する！！

## 5原則+1

普遍性や包摂性等、2030アジェンダから当然導き出されるものとして国の実施指針が示す5原則に、「バックキャスティング」を加えたものをSDGs推進にあたっての基本的な考え方ととらえることができます。



# 「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」概要

**人間** 貧困と飢餓を撲滅し、尊厳と平等、健康な環境の下に、全ての人々が持てる潜在力を発揮できるようにする

**地球** 持続可能な消費及び生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動に係る緊急の行動を含め、地球を破壊から守る

**繁栄** 豊かで満たされた生活を享受し、経済的、社会的及び技術的な進歩が自然と調和のうちに生じるようにする

**平和** 恐怖及び暴力からの自由、平和的、公正かつ包摂的な社会を育む

**パートナーシップ** 地球規模の連帯により、最も貧しく脆弱な人々に焦点を当て、全ての国、ステークホルダー、人の参加を得て必要な手段を動員する

## 目指すべき世界像

### 1 人間の安全保障が確保された世界

- ・全ての人生が栄える、貧困、飢餓、病気及び欠乏から自由な世界
- ・恐怖と暴力から自由で、身体的、精神的、社会的福祉が保証される世界
- ・質の高い教育、保健医療及び社会保険に普遍的にアクセスできる世界
- ・良好な衛生状態、食料と安全な住居が確保され、持続可能なエネルギーにアクセスできる世界

### 2 全ての国の持続可能な経済成長

- ・持続的かつ包摂的、持続可能な経済成長と人間らしい仕事がある世界
- ・消費と生産パターン、天然資源の利用が持続可能である世界
- ・人類と自然が調和し、種が保護される世界

### 3 1・2を実現可能とする世界

- ・人権、人の尊厳、法の支配、正義、平等、無差別が普遍的に尊重される世界
- ・人種、民族、文化的多様性を尊重する世界
- ・平等な機会が与えられた世界
- ・公正、寛容、社会的に包摂な世界

2030年までに

誰一人取り残すことなく実現を目指す

## 推進方策

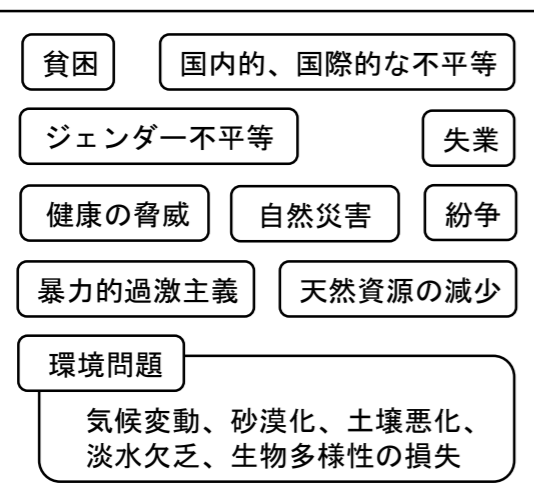
- 1 実施体制**
  - ・全ての主体の力を集結
  - ・公共政策及び国内のリソースを活用
- 2 進捗管理**
  - (1) 評価**
    - ・国、政府レベルで既存システムを活用し実施
    - ・グローバル指標及びローカル指標を用いたデータ重視により評価
  - (2) 公表**
    - ・成功事例等を共有するため、国連は、各国が自発的に報告するための場を設定

目指す世界像を実現するための目標及びターゲット



具体的取組は、各国の状況等を踏まえ各国政府が定める

## 現状：多くの国の存続と地球の生物維持システムの存続が危機！！



### MDGsの積み残し

- ◎ 進展の地理的ばらつき
- ◎ 健康が未達

### チャンス

ICT 人間の進歩を加速させ、知識社会を発展させる大きな潜在力  
 科学技術イノベーション 医学やエネルギーなど幅広い分野で大きな潜在力

## SDGsを進める上での基本的な考え方 5原則+1

- 1 普遍性** 2030アジェンダ及び17目標と169ターゲットの価値は普遍的
- 2 包摂性** 誰一人取り残さない、最も脆弱な立場の人々や特別な課題を持つ国々に焦点
- 3 参画型** あらゆる主体の集結、利用可能な資源の動員
- 4 統合性** 目標及びターゲットは統合かつ不可分、持続可能な三側面（経済、社会及び環境）を調和
- 5 透明性と説明責任** 透明性をもった定期的な評価・報告、評価結果を踏まえ新規施策
- 6 バックキャストिंग** 2030年のあるべき姿を描き、その実現に向け、すべきことを実施